



令和元年度の終わりにあたって

舟石川・船場地区自治会長 山川 典夫

本年度もあっという間に期末を迎え、月日が経つのが早く、驚いております。各々の部会の活動1年間ご苦労様でした。皆様のご協力に感謝いたします。皆さんが楽しみにしておられました「地域まつり」ですが、今年度は駐車場の拡張工事が実施されたため、残念ながら中止と致しました。これは、今後予想される地震や台風等の自然災害、原子力発電所の事故等により村外に避難する事態が発生した場合、自力で避難出来ない高齢者の方々を、舟石川・船場地区の基幹避難所である舟石川コミュニティセンターに集まっただきそこから村が用意したバスで避難していただくという想定のもと実施された工事です。



昨年10月初めに発生した台風19号の際は、舟石川コミュニティセンターが開放され約40名の方が避難所として使用されましたが、より大勢の避難者が来た場合を考えると、駐車場を拡張しておく必要性を感じました。

地区自治会はそれぞれの地域の特異性があり、それを纏めていくのは難しいなと感じましたが、事務局の尽力で地区自治会の活動が滞りなく遂行できております。

これからは、より安心で安全な地域作りを目指して、地区自治会活動に向き合っていきたいと思っております。皆様のご協力をお願い致します。



駐車場拡張工事中 (2020/02/24)

- 目 次 -	
地区自治会長あいさつ	1
地区自治会活動	2
防災研修会	3
舟石川・船場地区社協だより	4～5
舟石川支部だより	6～9
いきいき紹介	10
かわらばん	10
編集後記	10

地区自治会活動

今年度活動の報告

(建設・環境部会)

部会長 寺門 博孝

水神堂沢桔梗原生地の再生、コミセン緑地エリアの花木、コンテナの草花の育成、館内の鉢植えの管理、エリアと周辺の除草美化を主な活動としております。

村が主催しております、協力せよの協働ではなく、共に汗する共働が、部会員と共に親父の会の皆さま、コミセン管理スタッフの皆さまとハーモニーできました一年となりましたことに深謝いたします。おぎなっていたご助けられましての一年、重ねて御礼申し上げます。

唯一負担がかかりました事案は駐車場整備に關しまして、施工直前に異を申しのべられた住民により50日完成がずれこみ、桜、椿等、おぎなうための定植が適期をのがした事でございます。緑が失われたロスは、花木を中心に、コンパクトではあっても集中した美化につとめてゆきたいと思っております。

村、コミセン、住民が意見をのべあい、一つの方向が集約されたのちは共働しあい、助けあい、調整しあい、コミセンを活用したいものと祈念してやみません。



今年度の活動報告

(企画・総務部会)

部会長 鹿志村 直也

企画・総務部会は、今年度から部員がひとり加入し、11人となりました。部会開催は11回を数えました。活動内容を報告いたします。

くらしに役立つ勉強会を6月29日に開催しました。今回は二部構成とし、第一部では東海地区交番所長による講話の後、役場環境政策課による高齢者免許返納に関する村の優遇策についての説明を受けました。第二部では参加者との意見交換を行いました。終了後に実施したアンケートでは、「良い・大変良い」内容だと回答した方が全体の76%に上りました。

広報誌いきいきについては、19号を9月20日に、20号を3月10日にそれぞれ発行しました。

地域まつりは、舟石川コミュニティセンター駐車場増設工事のため中止となりました。

来年度は開催予定ですので、多くの方に来ていただけるような企画を考えていきたいと思っております。



地域の安全安心をめざして

(安全・安心部会)

部会長 植木 伸寿

後半の活動を振り返って

- 10月 高齢ドライバー自動車安全講習会を開催。
- 11月 防災研修会 防災館で災害の疑似体験日頃の備えを学ぶ。
- 12月 東海南中学校から船場地区内に向け防犯パトロールを実施。

本年も、部会として前年に引き続き東海駅前にて自転車盗難防止キャンペーン活動を展開しました。また、7月にはコミセン内にある防災設備や備品の点検、研修会を行い防災への意識を高めるとともに12月には部会として初めての防犯パトロールを実施。当日は、東海南中学校から教頭先生も参加いただき一緒に巡回してもらう事もできました。

今後も、効果的な部会活動が図れるよう皆さんと力を合わせ取り組んでまいりたいと思っております。



高齢ドライバー自動車安全講習会 防犯パトロール

残念だった地域まつり中止と農産物の販売

(農・工・商部会) 副部会長 萩谷 良一

今年度は舟石川コミセンの駐車場整備のために「地域まつり」が中止になりました。春先より農工商部会員で一生懸命育成してきたニンジンや大根を「地域まつり」で販売する計画でしたが、販売できなくなってしまったために役員会で協議して「地域まつり用野菜の販売会」を11月16日にコミセンで行いました。

また、同時に子供たちとニンジンと大根の収穫体験も行いました。「ジャガイモ収穫まつり」ほどの参加者はありませんでしたが、はじめはいいや収穫を行っていた子供たちも楽しそうに収穫していました。

来年度は「地域まつり」も開催されることと思っておりますので、「ジャガイモ収穫まつり」と「地域まつり」に向け部員ONE-TEAMで頑張りたいと思っております。



防災研修会 (栃木県防災館) 令和元年11月21日

基幹避難所としての防災研修の実施

舟石川・船場地区自治会事務局 川崎 明彦

今年度予定しておりました『地域まつり』は、舟石川コミュニティセンター駐車場工事のため実施が難しくなったため、役員会において協議して中止とさせていただきました。

そこで、日頃より地区自治会の役員として、また、基幹避難所運営組織員としてご活動されております皆様と、昨今の多発する台風などの災害時の基幹避難所として、組織の機能を高めるために、防災に関する知識の習得と、ささやかではありますが慰労を込めて防災研修なるものを実施させていただきました。

この研修の内容については、参加した委員の皆様より研修報告がございますのでご参照いただければと思います。

今回参加いただいた役員の皆様、受け入れ先となりました栃木県防災館の皆様、大変お世話になりました。本当に有意義な一日となりましたことに感謝申し上げます。

防災研修会に参加して

安全・安心部会 部会長 植木 伸寿

11月21日(木)「防災研修会」が開催されました。

本年は、毎年開催されている地域まつりが中止となり、代替事業として防災研修会が開催されました。当日は、栃木県宇都宮市中里町にある栃木県防災館にて、実際に起こり得る災害に備え、煙・大雨・大風・地震の疑似体験設備によって体感するなど自然災害から身を守るため、日頃からの備えについて「どうすれば安全が確保できるのか」防災の在り方を皆で考える良い機会となりました。

研修終了後は、福島県本宮市のアサヒビール福島工場まで足をのばし、原材料からビールができるまでの製造過程など説明を受けながら工場内の見学もさせていただきました。

なお、移動中バスの中からは紅葉に色づく山々を望みながら、防災と友好の思い出を深めた実り多い一日となりました。

防災研修会に参加して

舟一副自治会長 高橋 範夫

初めて栃木県防災館を訪れて、大風・大雨・煙迷路・地震と4つの体験をしました。大風体験では風速30メートルを経験、バーにつかまっていなくて立ってられない風の強さを感じました。雨体験では、長ぐつと合羽に着替えて「バケツをひっくり返したような」表現がぴったりの豪雨を体験しました。煙迷路では実際の火災を頭に浮かべ、煙の中をさまよいつつ出口へたどり着きました。地震体験では最大震度7までの揺れを体験し、地震の怖さを再認識しました。

今回は人工の体験でしたが、これが現実だったらかなりの被害をこうむること間違いなしです。私も死んでいたかも知れません。やっぱり備えあれば憂いなしと強く感じました。何はともあれ貴重な体験をすることが出来ました。



栃木県防災館前で

第34回秋季ふれあい運動会

青少年育成東海村民会議舟石川支部長 森野 明和

第34回ふれあい運動会は、雨天のため中止になりました。私も、新任の青少年育成東海村民会議の支部長として、自治会長として、参加しました。何回も会議を行い、皆さんの努力でどんどん実現へと近づいて行きました。

私は、舟石川二区の役員や選手の人選に苦勞しましたが、運動会開催2日前にやっと完成させ、その資料を見て一人で微笑んでいました。

しかし、前日役員の方々に集まっていただき検討した結果、「今夜から雨がふるから」とのことやむなく中止を決定しました。

多くの方々に、多大なる時間と労力をかけていただきながら中止になったことを大変残念に思います。来年度は楽しく開催できることを祈っています。

今回の運動会は中止となりましたので、懐かしい過去の写真を掲載しました。この子ども達も、今は大きくなっていることでしょう。



はにわ作り

令和元年7月14日(日)
会場：舟石川コミュニティセンター
【家庭委員会】

参加人数
子ども：82名
保護者：58名
スタッフ：22名

今年も大人気の「はにわ作り」を体験しました。



ピZZAのつくり

令和元年10月6日(日)
会場：舟石川コミュニティセンター
【青少年委員会】

参加人数
子ども：15名
役員：10名

大変美味しく作れました。



むめなね作りともちつき会

令和元年12月15日(日)
会場：舟石川コミュニティセンター
【地域・家庭委員会】

参加人数
38組
約95名
役員人数
約40名

前日の「わら」の準備作業
(役員はこの他にも買い出し・餅米の仕込み等、多くの準備をしています。)



まずは細い「わら」の部分を「すく」ことから始めます。

次に「わら」を木づちでたたき柔らかくします。

飾り物を参加人数分に小分けします。



ケーブルテレビのJWAYが取材に来られました。



いきいき紹介

舟一レディースクラブ

舟一レディースクラブ 寺門 裕美

「舟一レディースクラブ」これが私達仲間の名称です。結成は平成18年、会員数は22名、平均年齢は名称とは少し違いますが高齢にまちがいありません。

主な活動は、舟石川一区自治会の各種行事の際の食に関するお手伝いをしています。夏まつり、敬老会、運動会等です。夏まつりはカレー300食、焼きそば500食、赤飯300食、まき餅200個等作ります。運動会は、昼食用としてカレー300食を用意します。

敬老会との関わりは一昨年で終了となりましたが、手作り弁当を200食、手土産用に赤飯を作りました。すべてが手作りで美味しくをモットーに、スピードとボランティアの心で、ワイワイガヤガヤの雰囲気楽しくやっています。

東日本大震災の時は、自治会の要請で炊き出しを行いました。食材の不足のなか、会員招集も不能のなか、自治会が準備してくれたお米でおにぎりを1日千個余り作りました。会員で持ち寄った塩、醤油、味噌、梅干し等を使い、また地区内のお店やJA東海よりの差入れを受け、5日程度行動しました。合計したら五千個以上握ったかと思えます。当時の村長より、礼状を頂いた思い出があります。



会員間の絆は、昼食会や2~3年に一度の慰安旅行を催すことで深めています。来年度も計画中で、日光方面か箱根を考えています。

会員間の絆は、昼食会や2~3年に一度の慰安旅行を催すことで深めています。来年度も計画中で、日光方面か箱根を考えています。

かわらばん (今後の行事予定)

【舟石川・船場地区自治会】

- いきいき第20号発行 3月10日(日)
- 区自治会定期総会 4月26日(日)

【舟石川一区自治会】

- 舟一だより17号発行 3月
- 区自治会定期総会 3月29日(日)

【舟石川二区自治会】

- 区自治会定期総会 3月22日(日)

【船場区自治会】

- 区自治会定期総会 3月29日(日)

【舟石川・船場地区社会福祉協議会】

- 歩く会 4月12日(日)
- 総会 4月19日(日)

【青少年育成東海村民会議舟石川支部】

- ハイキング 5月9日(土)
- 総会 5月24日(日)
- 夏季キャンプ 7月23日(木)~24日(金) [予定]

編集後記

「聖火リレートーチ」のエピソード (企画・総務部会) 部会員 渡辺 正秋



7月24日に開会式を迎える東京オリンピックの「聖火トーチ」は、「桜の花びら」をモチーフとしたもので、原発事故被災地域である福島相馬地区の小学生のアイデアを、日本を代表するデザイナーの一人である、吉岡徳仁氏がデザインしたものです。材料のアルミは、岩手、宮城、福島3県で震災被災地の仮設住宅解体廃材のアルミサッシをリサイクルしたものです。

聖火リレーは、2020年3月に福島浜通りのサッカー場「Jヴィレッジ」をスタートし、全国各地を巡り、7月5日に千葉県から茨城県へ引き継がれ鹿島神宮をスタートし、2日間で県内各地を巡回し、7月6日、つくば市から埼玉県に引き継がれます。聖火リレーコースのルートに、東海村が含まれていないのは、残念です。



OLYMPIC TORCH RELAY
TOKYO 2020

